

デュポン™ タイベック 外壁防水システム

Right Product Right Place Right Now

製品案内

DuPont™ Tyvek® Wall Flashing System

デュポン™ タイベック 外壁防水システム



DuPont™ Tyvek® Wall Flashing System

大切なすまいを守るタイベックのトータルシステム

総輸入販売元

旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社

〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

URL <http://www.tyvek.co.jp>

デュポン™、DuPont™、デュポンオーバルマーク、The miracles of science™、タイベック、Tyvek®は、米国デュポン社の商標あるいは登録商標です。

ストレッチガード®は旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社の登録商標です。

Copyright ©2015 DuPont-Asahi Flash Spun Products Co.,Ltd. All rights reserved.

資料のご請求・お問い合わせは

0120-300355

E-mail Tyvek.Japan@dupont.com

までご連絡ください。



2015.09.000CR

<http://www.tyvek.co.jp>



信頼できる長期耐久性、最適な組み合わせ。

外壁の防水をワンストップで解決します。

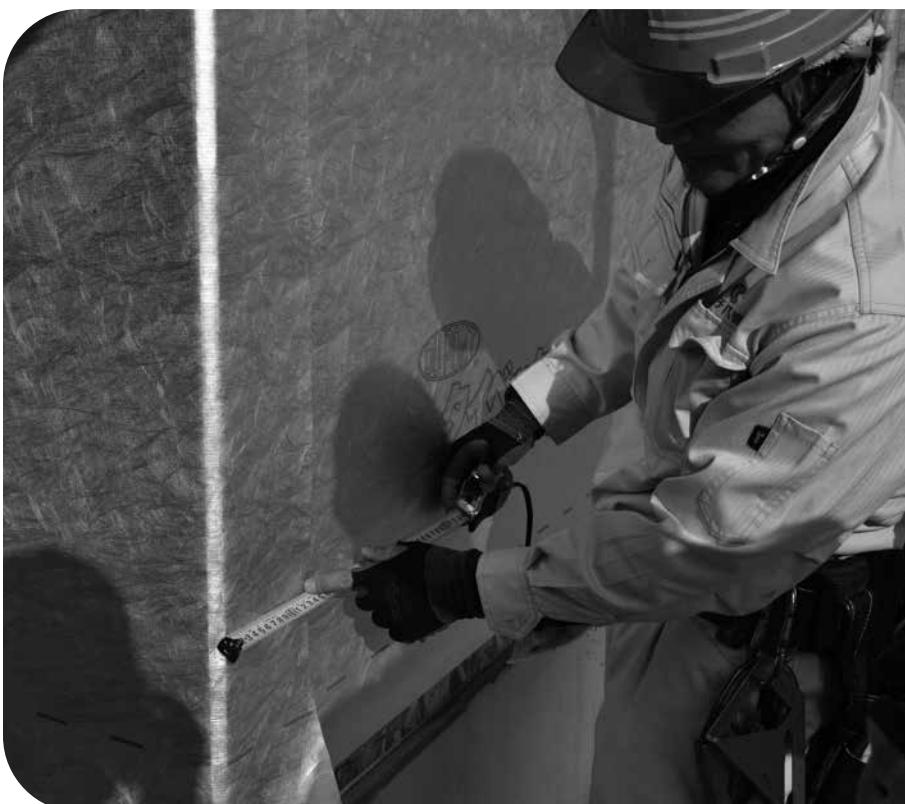
日本は高温多湿で、先進国の中で最も雨の多い国。近年、住まいの防水に関する意識が高まり、国内ではじめてタイベック®が住宅に採用されて30年。その優れた「軽さ」「透湿」「防水」「強靭さ」新たに、湿気を通す水切りシート及び、簡単に施工できる防水角部材を開発し、これらを組み合わせて壁体内結露や雨漏り発生のリスクを抑えることが可能になりました。家族が長く快適に過ごせる住まいを、守りつづけるために。

タイベック®は住宅の高耐久化にふさわしい、新しい防水システムを提案します。

結露リスクや雨水の侵入を防ぐ施工が求められています。

などが評価され、日本で400万棟、世界で1,000万棟*に選ばれています。

*デュポン™タイベックの出荷量に基づいた当社推計値



大切なすまいと
くらしを
トータルで守る
タイベック®品質

透湿防水シート

デュポン™ タイベック® ハウスラップ
デュポン™ タイベック® シルバー

水切りシート

デュポン™ タイベック® フラッシングシート

防水角部材

ストレッチガード®

防水テープ

デュポン™ タイベック® ハウスラップテープ
(ブチル・アクリル・シルバーテープ)



→ P3

→ P7

→ P9

→ P12





家の長寿命化に貢献する住宅外壁下地用シート

デュポン™ タイベック® ハウスラップ

快適・長持ちを実現する透湿・防水・遮熱シート

デュポン™ タイベック® シルバー

デュポン™ウォールフラッシングシステムで採用する透湿防水シートは30年相当の耐久性試験を実施しています。

お客様の大切なまことに、より安心していただくためにも、20年保証を付与しているタイベック・ハウスラップ

またはタイベック・シルバーをご採用ください。



基本性能



透湿性



防水性



強靭性

優れた透湿性で構造材の乾燥状態をキープ

湿気は通しても、外部からの雨水の浸入を防ぐ

施工中の多少の引っ張りや引っ張りにも耐える強度

性能試験結果

抜群の耐久性、安心の「20年保証」の理由

透湿・防水シートのパイオニアとして、業界に先駆けた20年保証を導入しています。
防水性に関し、下記物性を20年間保証します。
国内での販売開始以来30年の実績を誇り、数々の実棟サンプリング試験と30年相当の耐久性試験を行ってきたからこそできる安心の20年保証です。

■防水性8kPa以上 (試験方法JIS L 1092)

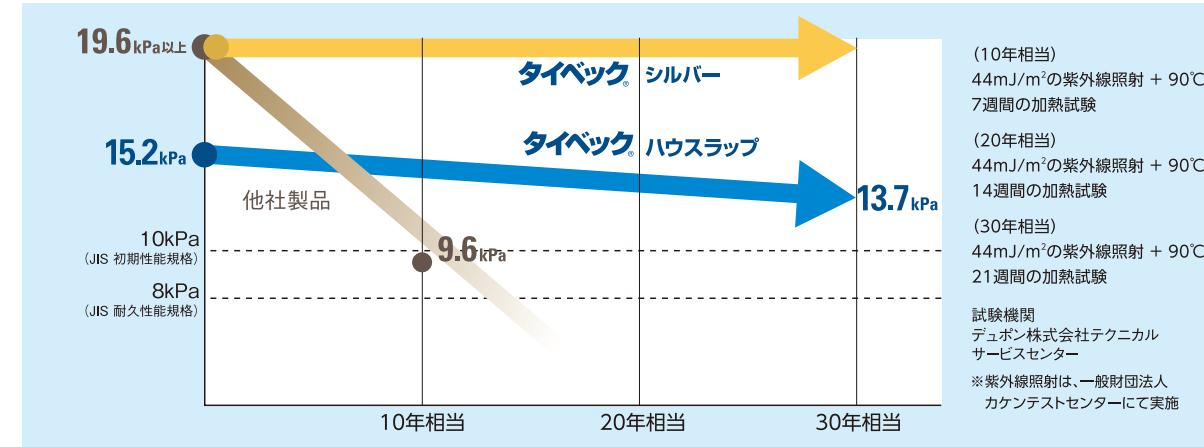


現場サンプリング試験結果

1985年12月施工の旭川市M様邸の外壁張替え工事の際に撮影されたデュポン™ タイベック・ハウスラップ。18年後に性能評価したところ、構造材、断熱材はしっかりと乾燥状態が保たれ、20年保証値の8kPaを十分に超えた12.6kPaもの防水性がありました。タイベックの確かな品質と信頼の証です。



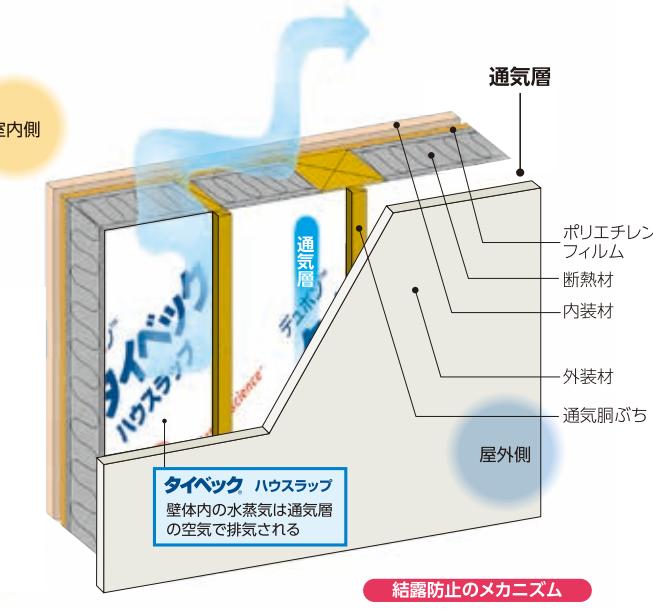
■30年相当耐久性試験結果



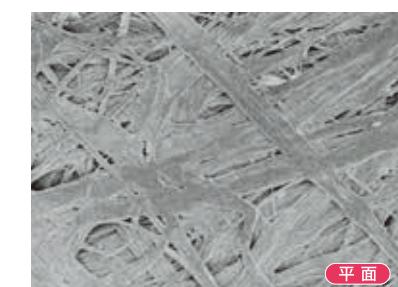
タイベック® ハウスラップの優れた性能

通気層構法

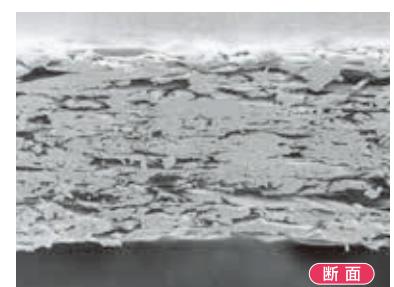
タイベック・ハウスラップの施工時には、本製品の優れた性能を充分に発揮させるため、壁体内からの湿気が通気層を通り抜けて排出される通気層構法でなくてはなりません。通気層構法のメリットは①外装材からの熱を直接転体に伝えず、②湿気を排出し結露を防ぎ、③侵入した雨水を排出することが挙げられます。住宅の長寿命化にはとても重要な構法となっています。



結露防止のメカニズム



タイベック・ハウスラップを構成する強靭な極細ポリエチレン繊維(約300倍)



超極細繊維一体構造

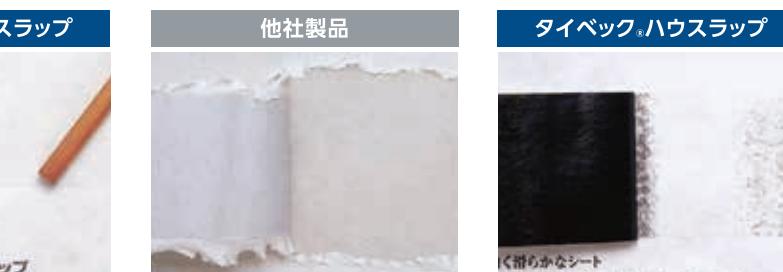
タイベック・ハウスラップは、高密度ポリエチレン不織布タイベックを建材用途に使用した透湿・防水シートです。0.5~10ミクロンの無数のポリエチレン極細繊維構造のタイベックは、湿気を逃しても水は通しません。長期にわたり、外部からの雨水侵入の侵入・結露を防ぎ、木材や断熱材からの乾燥状態を保ちます。

■現場で安心 タフな透湿防水シート

ひっかき試験



引き剥がし試験



品名	規格
デュポン™ タイベック® ハウスラップ	● 幅1m×長さ50m巻 ● 幅3m×長さ40m巻
デュポン™ タイベック® ハウスラップ ソフト	● 幅1m×長さ50m巻 ● 幅3m×長さ40m巻
デュポン™ タイベック® シルバー	● 幅1m×長さ50m巻 ● 幅3m×長さ40m巻

優れた遮熱性を有するタイベック®シルバー

遮熱性

アルミニウムは、高い赤外線反射率を持ち、熱の放射を抑える特徴があります。この特徴を活かしたタイベック®シルバーは、赤外線反射率85% (=赤外線放射率約15%)^{*}という高い遮熱性を有しています。夏は屋外(外装材)からの輻射熱(赤外線)を反射し室内を涼しく、冬は屋外への熱の放射を抑え室内を暖かく保ちます。



遮熱耐久性

真夏の通気層は、50°Cを超える、湿度が90%に達したりすることがあり、非常に厳しい環境になります。アルミニウムは劣化しやすい素材のため、この厳しい環境に対して技術的な対策を取り、耐久性に問題がないようにする必要があります。タイベック®シルバーは、独自の構造と特殊コーティングにより酸化劣化を抑え、建材として充分な耐久性を確保しています。

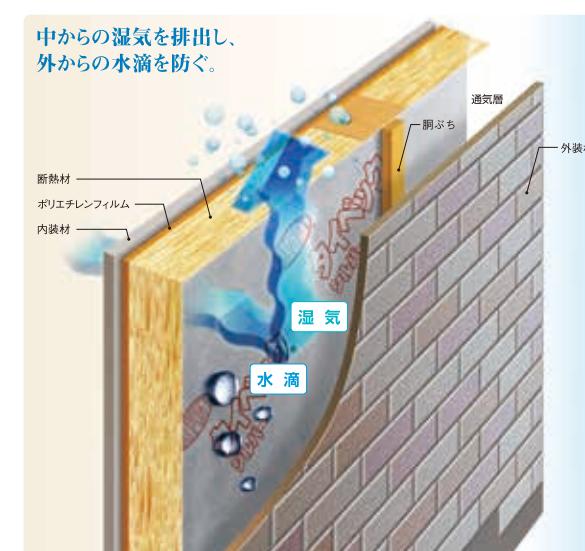
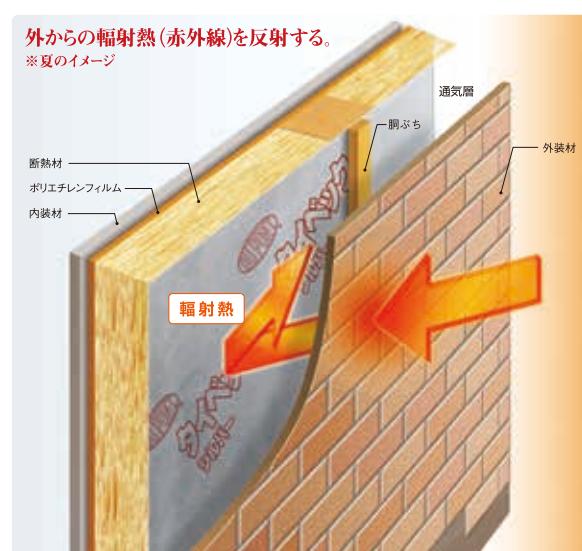
防水耐久性

タイベック®シルバーは、透湿・防水シートとして30年以上の実績を誇るタイベック®ハウスラップを基材とし、タイベック®ハウスラップをしのぐ優れた防水耐久性を発揮します。



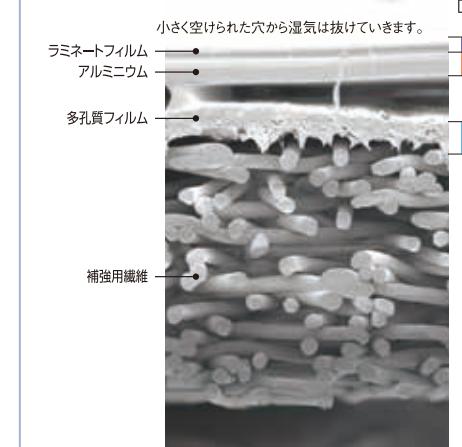
タイベック®シルバーの優れた性能

タイベック®シルバーは“夏涼しく、冬暖かい”という遮熱性能と、“躯体の劣化や腐敗を防ぐ”透湿・防水性能、そしてそれらが長持ちする優れたシートです。

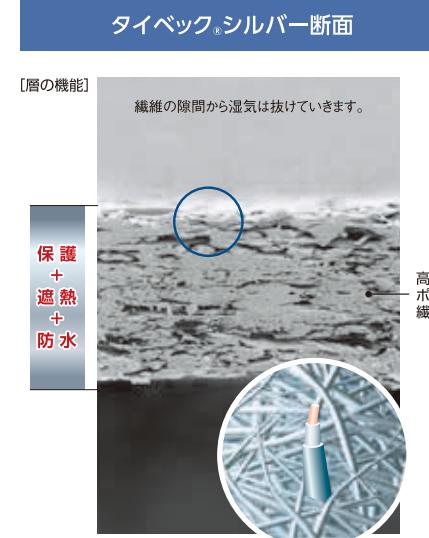


高耐久性を実現するしくみ

他社製品断面



タイベック®シルバー断面



タイベック®シルバーは、独自のフラッシュスパン製法により、ミクロン単位の繊維がランダムに積層されているため、単層で分厚い防水層になっています。一方、他社製品の防水層は薄いフィルムです。この防水層の厚みの違いが、経年耐久性において大きな差となります。加えて、紫外線劣化防止剤を配合し、サイディングが施工されるまでの劣化対策も施しています。また、アルミを保護するための抗酸化樹脂コーティングにより、遮熱の耐久性にも優れています。

(一財)ベターリビングによる評定を受けた高性能透湿・防水・遮熱シート

タイベック®シルバーは、業界で初めて第三者評定機関である(一財)ベターリビングにより、客観的な性能評価を受けている透湿・防水・遮熱シートです。

試験概要

遮熱耐久性試験

日本国内で最も高温多湿となる地域での通気層内(温度65°C、相対湿度93%)を想定し、10年経過後と同等の状態になるよう劣化促進試験を行いました。
温度:90°C
相対湿度:95%
曝露期間:152日間

結果

劣化促進試験における赤外線反射率の変化

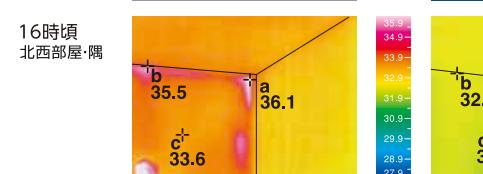
	初期 (%)	10年相当 (%)	劣化度具合 (%)
赤外線反射率	84.9	82.1	2.8



遮熱の効果

夏 日没後も涼しさに差が出ます

他社 透湿・防水シート



タイベック®シルバーを施工した建物は、天井・壁の温度上昇が抑えられました。また躯体への蓄熱が少ないので、太陽が沈んだ後も、快適性に差が見られます。

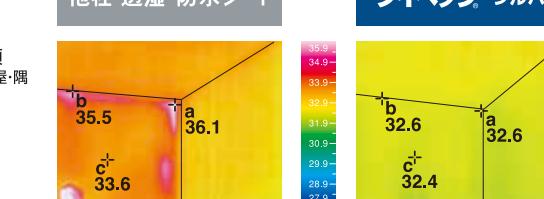
試験概要

隣接した2棟で、タイベック®シルバーを施工した建物と他社の透湿・防水シートを施工した建物の、室内の壁と天井の温度を測定しました。

測定日

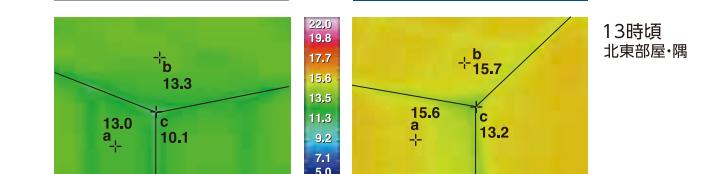
2005年7月26日
測定物件：愛媛県松山市内の、シート以外ほぼ同仕様の2物件
構造：在来木造工法
仕様：断熱材 壁 GW 10K 100mm 小屋裏 GW 10K 100mm
外気温：33°C(13:00)

タイベック®シルバー



冬 魔法瓶のように暖かさを保ちます

タイベック®ハウスラップ



試験概要

隣接した2棟で、タイベック®シルバーを施工した建物とタイベックハウスラップを施工した建物の、室内の壁と天井の温度を測定しました。

測定日

2007年1月26日
測定物件：富山県高岡市内の、シート以外ほぼ同仕様の2物件
構造：在来木造工法
仕様：断熱材 壁 高性能GW 16K相当 75mm 小屋裏 高性能GW 16K相当 75mm
外気温：2°C(13:00)

透湿性水切りシート

施工用途 窓台 パルコニー 軒天まわり

商品の詳しい
性能はこちらを
チェック



タイベック[®]を基材とした次世代型透湿水切りシート

デュポン[™]タイベック[®]フラッシングシート



タイベック[®]、ハウスラップの約2倍の防水性と業界初の透湿機能により、漏水と結露被害を抑える次世代水切りシートです。
優れた強度と耐久性を持ちながらも、重量は、従来の水切りシートの約1/8。角部での折り曲げもしやすく、施工性に優れた製品です。

■ 製品特徴

透湿



結露を抑制する十分な透湿性能

軽い



アスファルトフェルト940に比べて1/8の軽さ

高耐久



30年相当の耐久性試験を実施

角が出やすく施工性に優れた製品



折り曲げしやすく、角部での高い追従性を発揮



性能試験結果1

30年相当の耐久性試験において変わらぬ性能を発揮

透湿性能
 $0.27 \text{ m}^2 \cdot \text{s} \cdot \text{Pa}/\mu\text{m}$

引張強さ
縦 370 N / 5cm
横 305 N / 5cm

厚み
0.34mm 重量
113g / m²



水を含ませた合板をタイベック[®]フラッシングシートで巻いた場合と、非透湿水切りシートを巻いた場合でカビの発生状況を比較しました。

非透湿水切りシートで巻いているもの



初日



1週間



2週間

タイベック[®]フラッシングシートを巻いているもの



初日



1週間

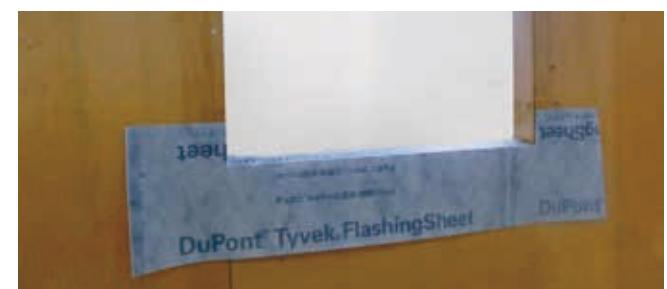


2週間

タイベック[®]フラッシングシートであれば、乾燥をうながしカビの発生を抑えることができます。

■ 施工イメージ

窓台部



バルコニー笠木部



名称	サイズ/梱包単位	用途
デュポン [™] タイベック [®] フラッシングシート	300mm×40m 6巻/箱	窓台、バルコニー笠木、軒天 下屋と壁の取り合いなど
	500mm×20m 4巻/箱	幅広い用途で使用可能



かんたん一発施工でピンホール無しの伸張性防水角部材

ストレッチガード[®]

シワ加工したタイベック[®]とブチルゴムを複合させた伸張性防水角部材です。
強靭で耐久性に優れ、これ1枚で様々な部位に追従し、施工は簡単でスピーディーです。



■ 製品特徴

簡易施工



約2.4倍に伸びさまざまな角部に追従

高耐久

高温試験機
30年相当の耐久性試験を実施

強靭性

タイベック[®]複合だからブチルテープ以上の強度

接着性能

30年相当の接着耐久性試験結果*

被着体	単位	接着状態	試験結果	NYG規格	試験方法(準拠)
タイベック [®]	N/25mm	伸張前	23.4	2.5以上	JTC S-0003
		伸張後	16.2	2.5以上	
OSB		伸張前	36.6	2.5以上	
		伸張後	20.6	2.5以上	

※ 30年相当: 44mJ/mの紫外線照射+90°C 21週間の加熱試験

※ 粘着強度を確認するためのピール試験は常温(23度)で実施

2ヶ月屋外暴露試験結果



2ヶ月間の屋外曝露試験を実施しました。粘着力を測定したところ、劣化はほとんど見られず、変わらぬ高い粘着力を維持していました。

抜群の施工性

プラスチック成型品の場合



7箇所以上防水テープを施工し、とめつける必要がある

折り曲げると割れる恐れがある

ストレッチガードの場合

ストレッチガード[®]は貼り伸ばすだけの簡単一発施工



防水テープの場合



施工者によって施工精度が異なる



テープの貼り重ねは剥がれや水みちになる恐れあり

低温粘着再現実験



試験機関: 栃木県産業技術センター

試験条件: 冬季を想定した低温状態のチャンバールームでストレッチガード[®]を施工し、20分後に剥がれが無いかどうかを確認

結果: -5°C環境では安定した接着であった。

-10°Cでは、十分に押し付けながら施工することで接着が安定していた。

■ 施工イメージ

バルコニー直交部



バルコニー出隅部



窓台角部



ダクト部



名称	サイズ/梱包単位	用途
ストレッチガード [®] 一般部用	150mm×230mm 20枚/箱	窓台角部、バルコニー直交部 下屋と壁の取り合い部など幅広い用途
ストレッチガード [®] 出隅部用	270mm×270mm 20枚/箱	バルコニー出隅部
ストレッチガード [®] テープ	50mm×10m 5巻/箱	ダクト部

デュポン™ タイベック® ハウスラップテープ

両面アクリル/片面アクリル

アクリルテープは、低温時の初期接着力が高く、冬季においても安定した性能を発揮。テープの手切れ性も良く、施工性が高い商品です。主に、サッシや水切りとの接合部等での防水施工で使用可能です。

下記の製品をご利用いただけます

タイベック®シルバー/タイベック®ハウスラップ/タイベック®ドレインラップ

その他の推奨製品

企業名	製品名称
光洋化学株式会社	エースクロス SCW/ SBW / SBX

商品の詳しい
性能はこちらを
チェック

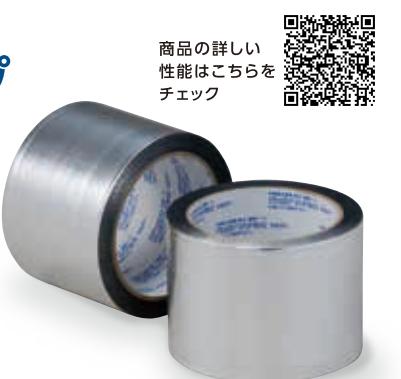


デュポン™ タイベック® シルバーテープ

表面にアルミ加工を施した片面アクリルテープです。タイベックシルバーとの相性が高く、
タイベック®シルバーを施工する際に、発生する接合部分で使用可能です。

下記の製品をご利用いただけます

タイベック®シルバー

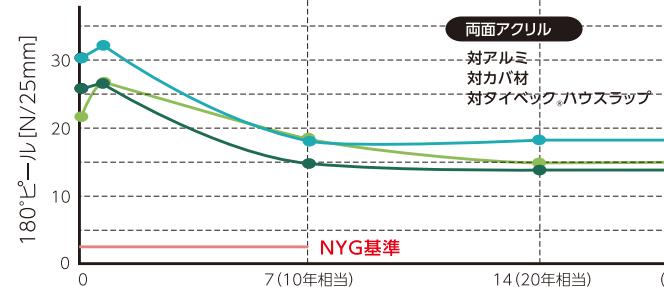


接着耐久性及びタイベック®との相性が確認されているアクリルテープです

耐久性試験結果

20年相当の耐久性試験後も優れた接着性を確認しています。

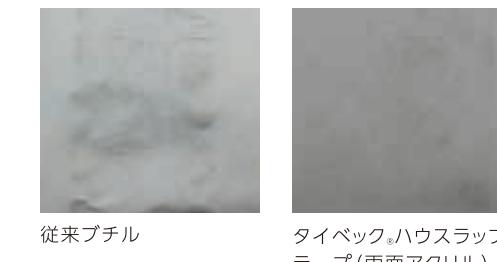
耐久性 90°C加熱促進(対アルミ、対カバ材、対タイベック®ハウスラップ)



タイベック®ハウスラップテープは、気温0°Cから60°Cまで厳しい温度条件下でも安定した接着力があるため、長期にわたって安心してご使用いただけます。

相性確認試験結果

タイベック®にシワを発生させるなどの悪影響を与える成分は含まれておりません。



名称	サイズ/梱包基準
タイベック®シルバーテープ	幅75mm × 長さ20m 巻 1ケース 20巻入り
タイベック®ハウスラップテープ(片面アクリル)	幅75mm × 長さ20m 巻 1ケース 20巻入り
タイベック®ハウスラップテープ(両面アクリル)	幅50mm × 長さ20m 巻 1ケース 20巻入り

デュポン™ タイベック® ハウスラップテープ

両面ブチル

両面ブチルテープは、凹凸部分への追徳性が高く、サッシフィンやビス頭におけるテープの浮きが少ないため、高い防水性を発揮します。

下記の製品をご利用いただけます

タイベック®シルバー/タイベック®ハウスラップ/タイベック®ドレインラップ

その他の推奨製品

企業名	製品名称
日東電工株式会社	全天テープ No. 690

商品の詳しい
性能はこちらを
チェック

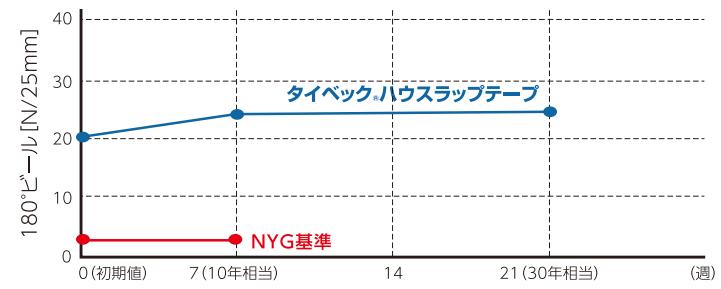


接着耐久性及びタイベック®との相性が確認されているブチルテープです

耐久性試験結果

30年相当の耐久性試験後も優れた接着性を確認しています。

テープ2面側の粘着耐久性(被着対:デュポン™タイベック®ハウスラップ)



相性確認試験結果

タイベック®にシワを発生させるなどの悪影響を与える成分は含まれておりません。

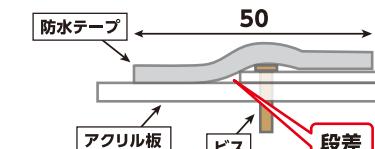


優れた追徳性で雨水浸入を防ぎます

サッシフィンなどの不陸が発生する部位にて優れた追徳性を発揮します。

試験概要

アクリル板で段差を作り、ビス打ちした上からブチルテープを接着し0°C~60°Cの加温サイクル試験を行った後、裏から接着度合いを目視で確認しました。



結果

他社ブチルテapeと比較し、浮きによる水みちの心配が少ない結果でした。



名称	サイズ/梱包基準
タイベック®ハウスラップテープ(両面ブチル)	幅50mm×長さ20m巻 1ケース 20巻入り 幅75mm×長さ20m巻 1ケース 15巻入り

施工上のポイント・施工手引

<本施工要領の位置づけ>

本書では最も適切と考えられる施工方法を掲載しておりますが漏水保証を行うものではないことをご了承ください。

当システムとして、以下製品による施工方法を標準として掲載しています。

透湿防水シート：デュポン™ タイベック・ハウスラップ・タイベック・シルバー

防水角材：ストレッチガード

防水テープ：タイベック・ハウスラップテープ

尚、デュポン™ タイベックの製品保証に関しては、別紙の標準施工要領に基づいているため、本書は参考資料として位置づけます。

<本書の読み方>

透湿・防水シート施工を中心に、関連する周辺の施工と共にイラストや写真を多く用いてわかりやすく紹介しています。
また、特に注意すべき点を2つに分けて記載しています。

Point 施工において注意すべきポイントを要約

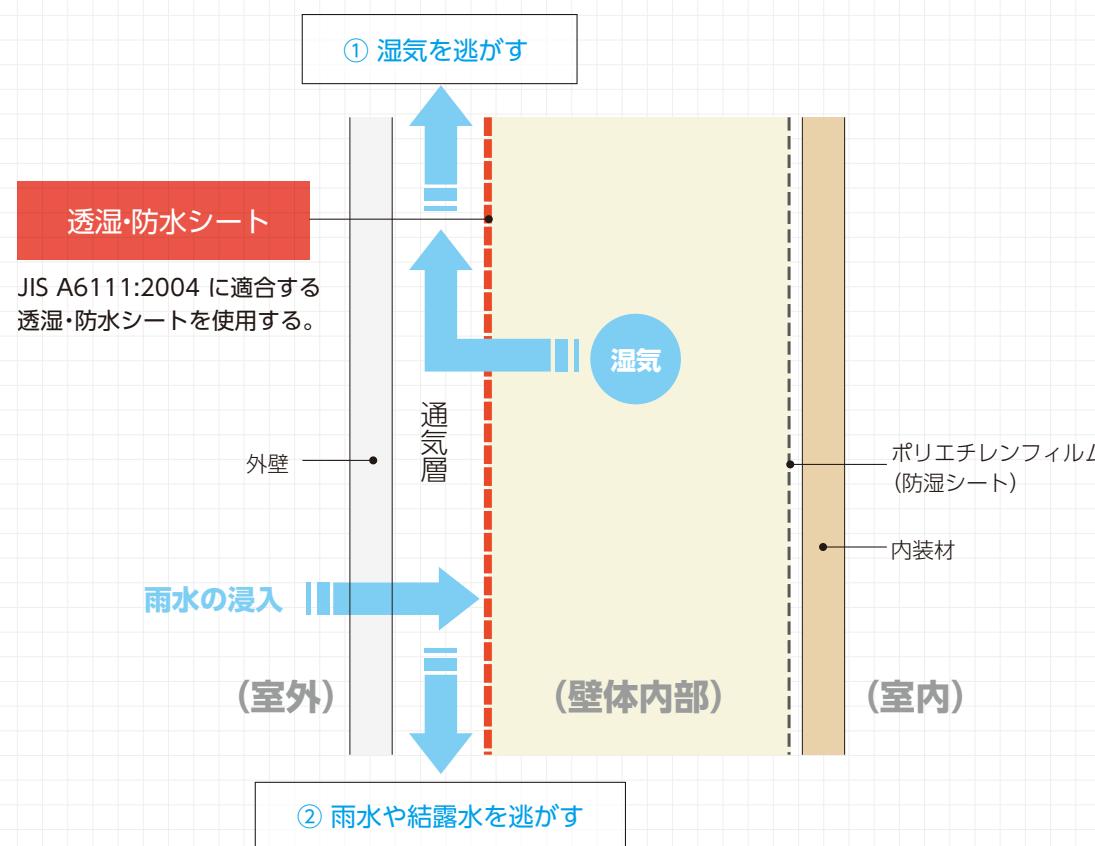
General 住宅瑕疵担保責任保険における一般的な納まりを記載

はじめに

通気層構法の役割

通気層構法の大きな役割としては、『湿気の排出』と『浸入した雨水や結露水の排出』の
大きく2つに分かれる。この2つのポイントを現場においても意識することで、施工ミスは減少する。

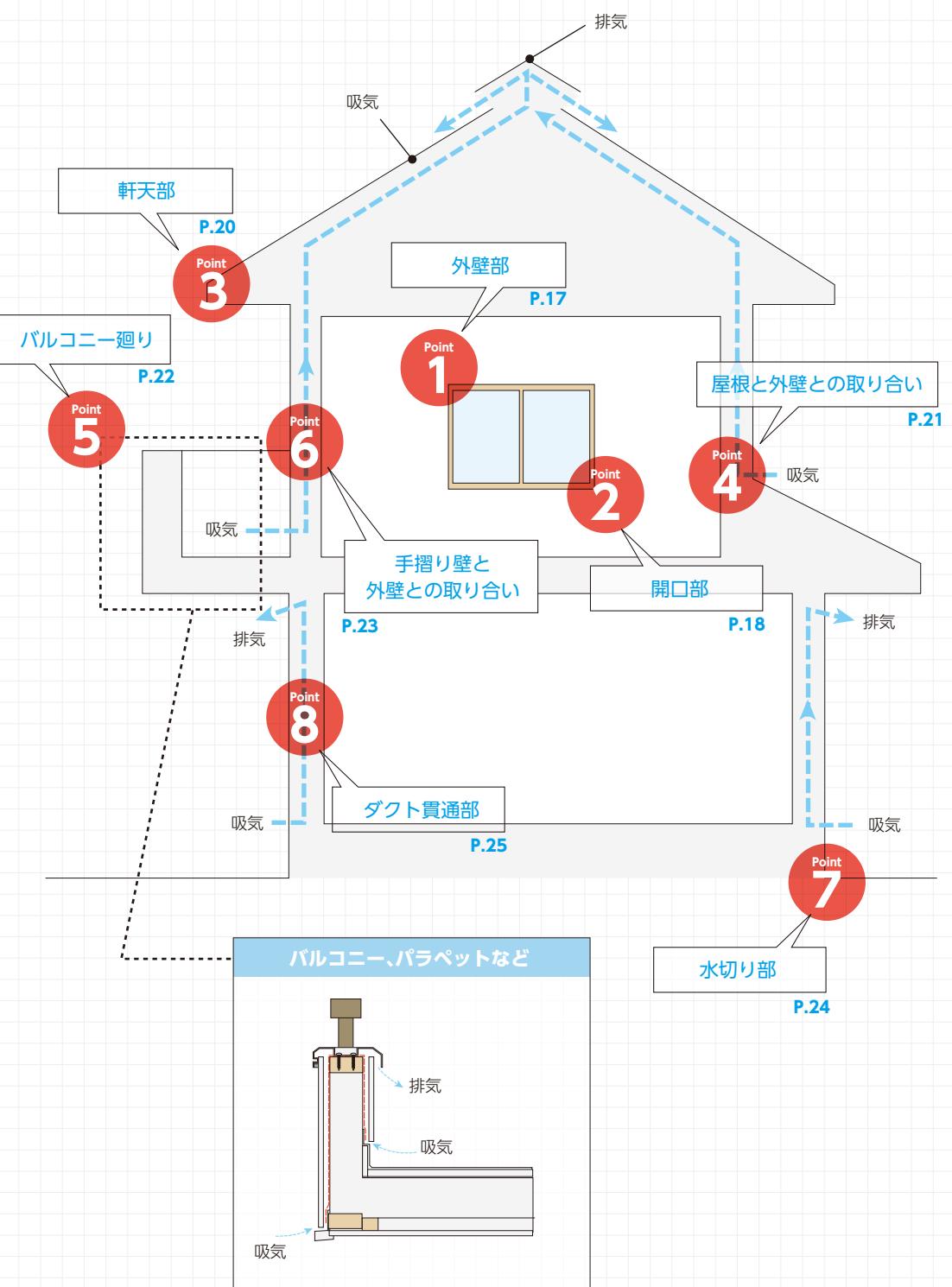
通気層構法、湿気の放散・雨水排水のしくみ(イメージ図)



■標準施工要領

- 施工の際は工具として、メジャー、カッターナイフ、ガンタッカーをご用意ください。タッカーのステークはステンレス製を推奨します。
- シート上下方向の重ねしろは、90mm以上とし、横方向の重ねしろは150mm以上とします。
- 出隅および入隅部分は、2重張りとします。ただし、出隅部分は、シートを連続して施工することも可能です。
- シートは、必ず下地がある部分において重ね部をタッカーで止めつけます。(タッカーのピッチの目安は100mmとします)
- タッカーで止める際は、シートを破らないように真っ直ぐに打ち込みます。また、タッカーの頭を浮かさないようにしっかりと打ち込みます。
- シートをテープ止めする場合は、シートに悪影響を与える物質を含まないテープを使用してください。
- シートはたるまないように引っ張って止めます。
- 開口部建具については、使用する開口部建具のメーカーの仕様に従い、取り付けてください。
- 土台水切り及び、雨押さえ板金などの取り合い部については、雨水浸入及び風でなびく音を抑えるために防水テープ施工を行ってください。

家全体での通気イメージと施工上の重要ポイント

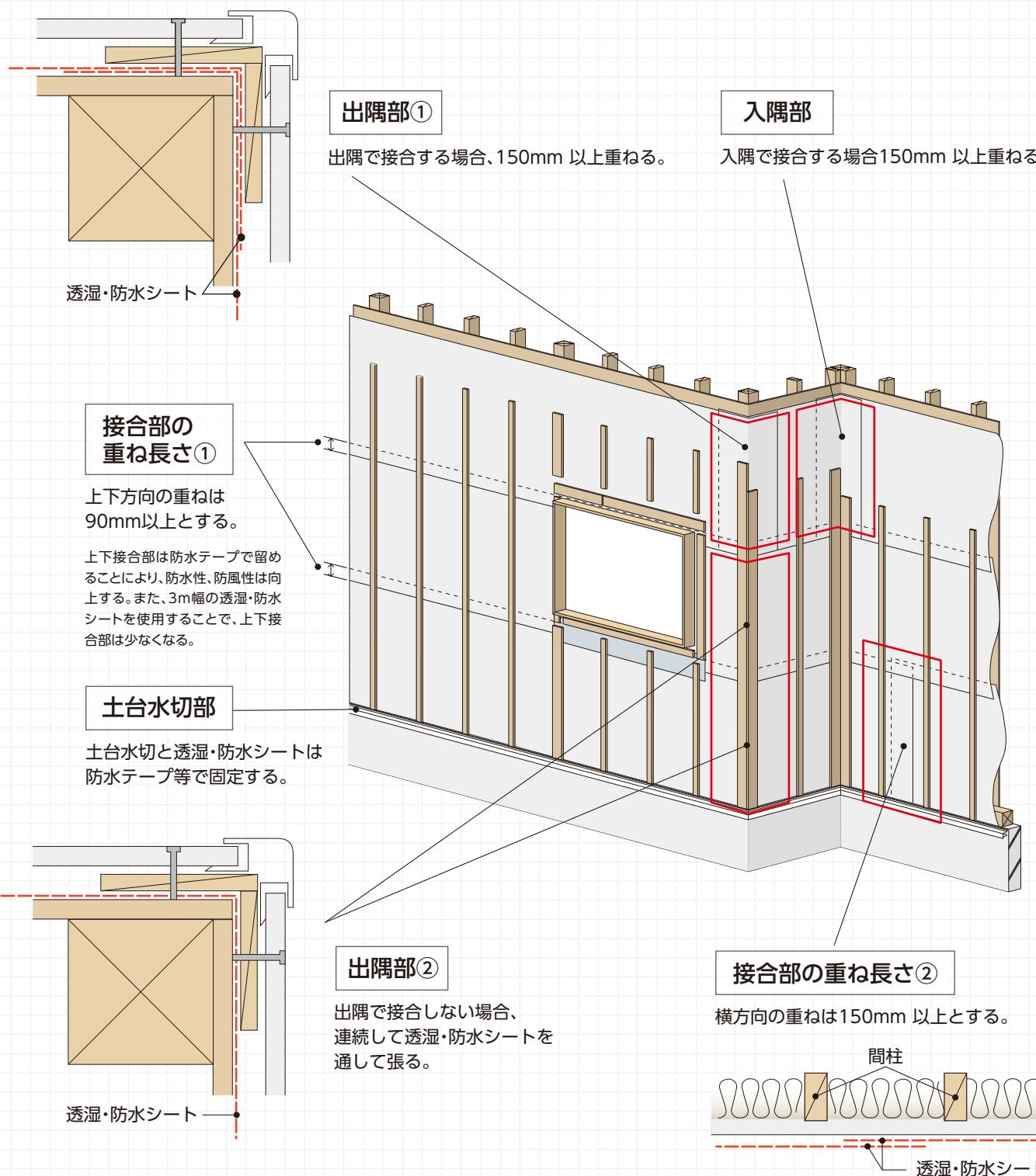


透湿・防水シート施工の基本

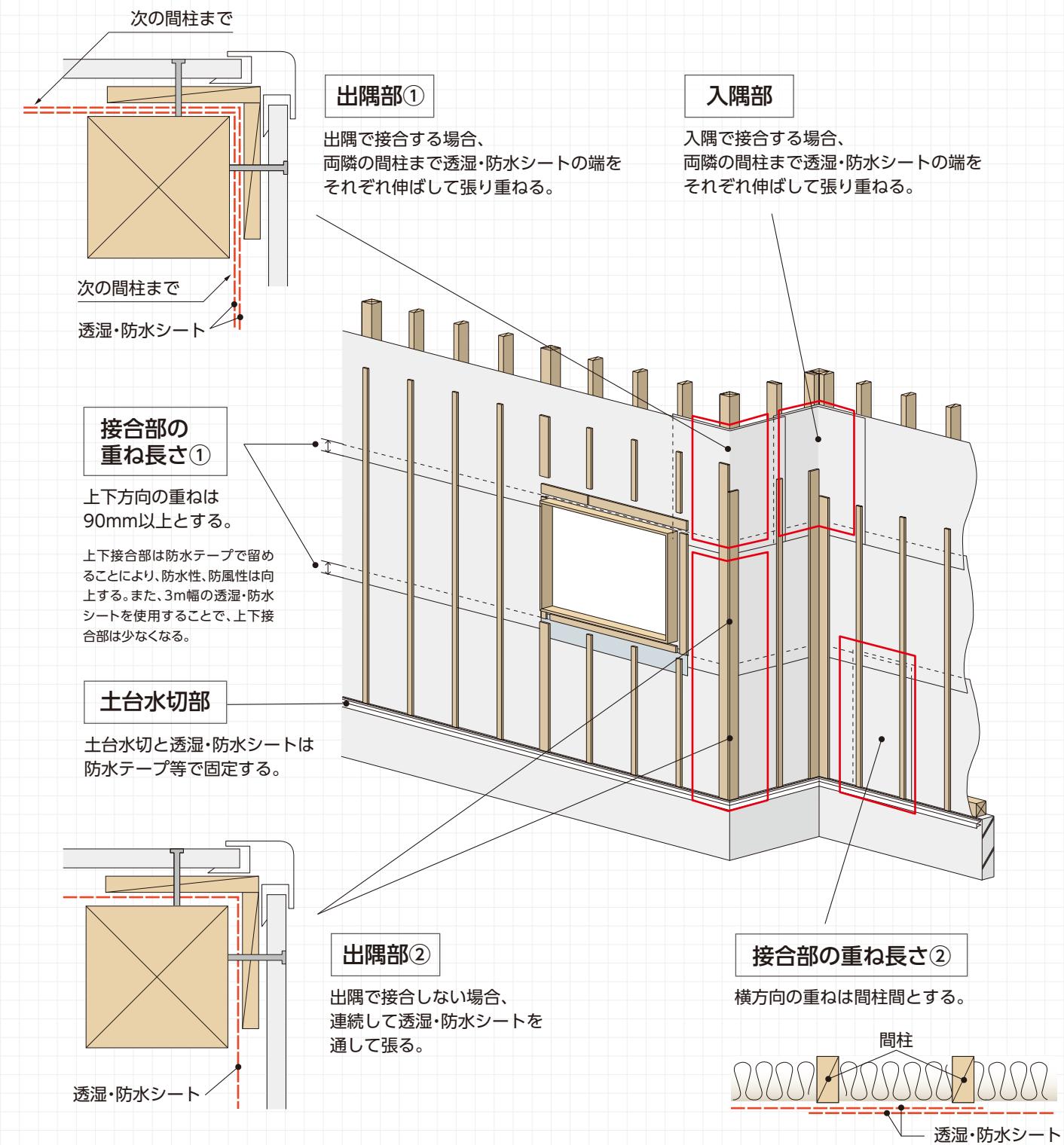
参考施工方法

- 品 質 使用する透湿・防水シートは、JIS A6111:2004 適合のものとする。
- 張り方向 横張りを基本とする。
- 水切り部 透湿・防水シートは必ず水切り金物の上に重なるように施工し、防水テープで密着させる。(詳細は24ページ参照)

下地合板ありの場合



下地合板なしの場合



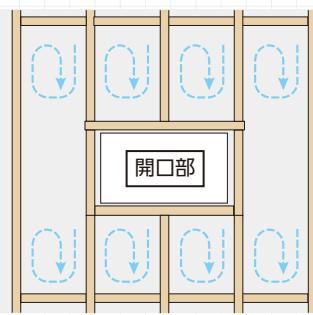
重要ポイント①

外壁部の通気、排水

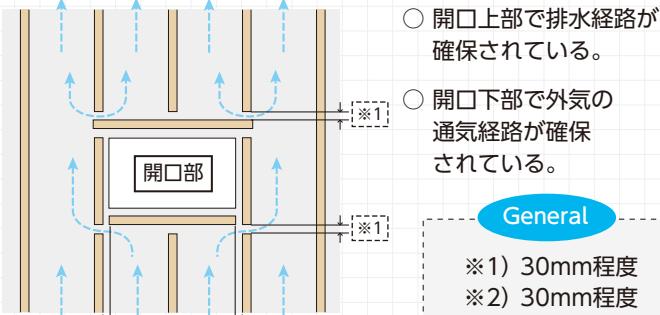
開口部周りに通気経路がないとカビが生えたり、腐れを引き起こす原因になる。
また、同時に排水経路を確保しないと、漏水のリスクが高まる。

縦胴縁の場合

×悪い例



○良い例

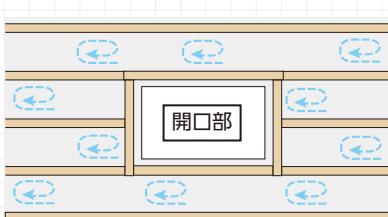


- 開口上部で排水経路が確保されている。
- 開口下部で外気の通気経路が確保されている。

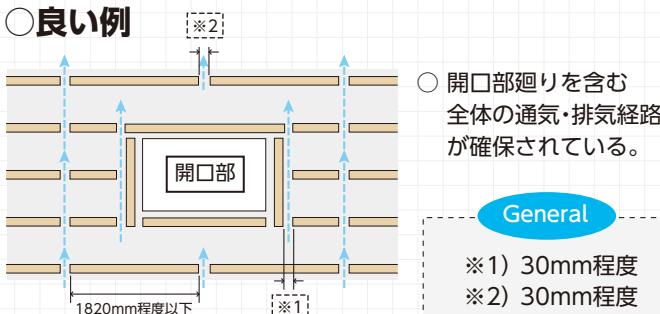
General
※1) 30mm程度
※2) 30mm程度

横胴縁の場合

×悪い例



○良い例



- 開口部周りを含む全体の通気・排気経路が確保されている。

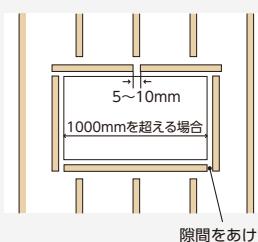
General
※1) 30mm程度
※2) 30mm程度

Point

補強胴縁を含む開口部周りや胴縁全体の割り付けは、サイディングの納まりを考慮しながら、空気が下部から入って上部から排出する通気経路と、壁体内に入り込んだ雨水や結露水を排出する経路を確保する。

General

開口幅1000mmを超える開口部上側の横胴縁は、壁体内の雨水や結露水を排出するため、910mmにつき1か所、5mm～10mmの隙間を設ける。また、開口下部の補強胴縁に関しても縦胴縁との間で排水路を確保する。一般的にサッシフィン幅程度のクリアランスとされている。



排水機能付き透湿・防水シートを使用の場合

横胴縁で施工する場合は、胴縁部分の雨水等の浸入や乾燥を促進するため、右写真のような製品を使用することを推奨する。通気経路については上記の通り配慮が必要である。(写真はデュポン™タイベック®ドレインラップ)

重要ポイント②

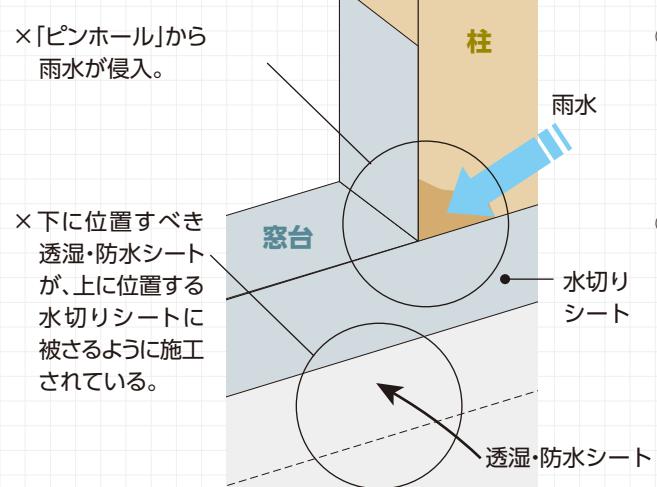
開口部の防水

(一般的な納まりの場合)

サッシ周りの防水テープの接着不良や、サッシ枠接合部からの漏水をあらかじめ想定し、水切りシートおよび防水テープなどを施工し、透湿・防水シートの取り合いに注意する。

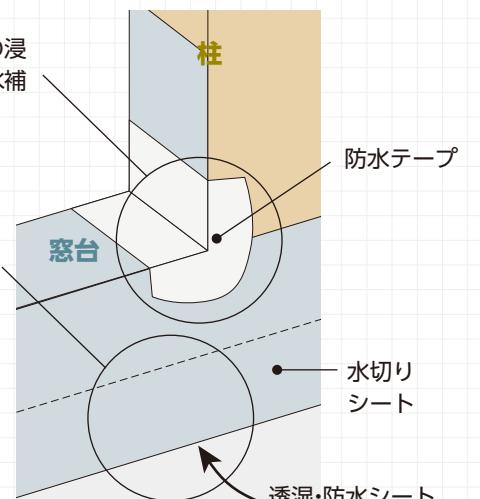
水切りシートと透湿・防水シートの施工

×悪い例

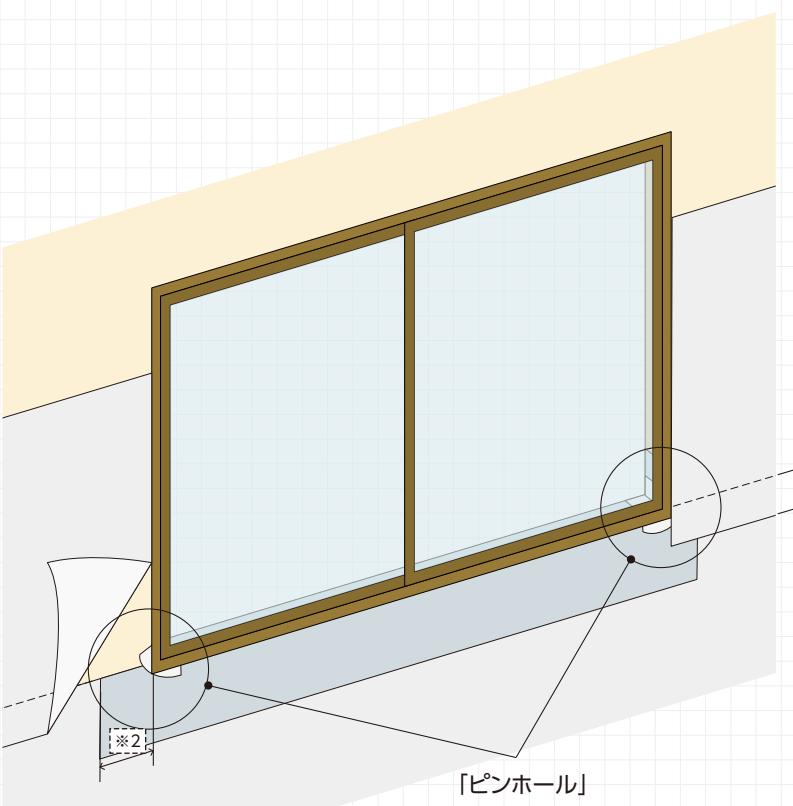


×「ピンホール」からの雨水が侵入。
×下に位置すべき透湿・防水シートが、上に位置する水切りシートに被さるように施工されている。

○良い例



- 「ピンホール」からの浸水を防ぐための防水補強がなされている。
- 上に位置すべき水切りシートが、下に位置する透湿・防水シートに被さるように施工されている。



General

※1) 90mm以上 ※2) 150mm以上

Point

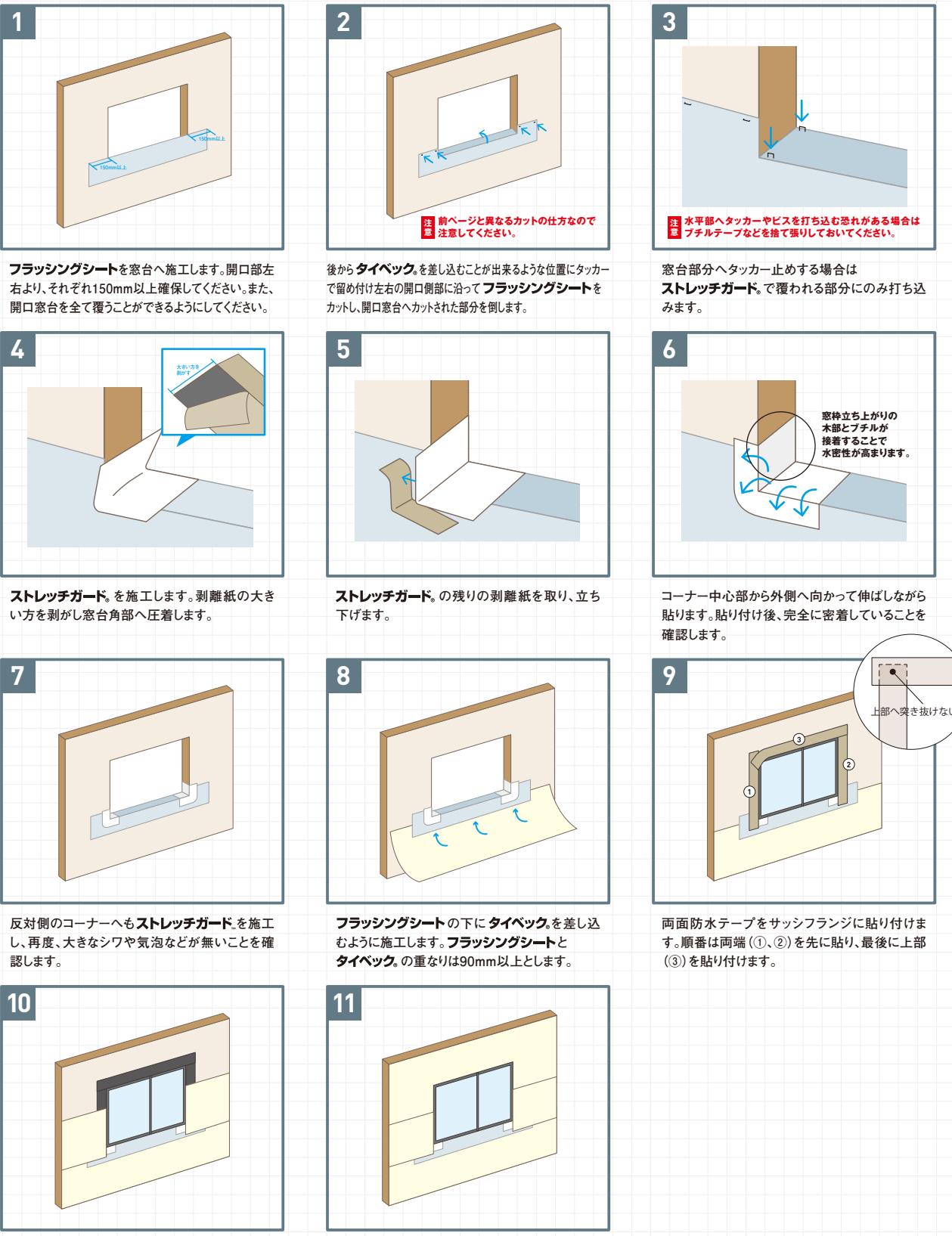
透湿・防水シート内側に雨水が入り込まないよう、水切りシートと透湿・防水シートの取り合いに注意する。

重要ポイント②

開口部の防水

(タイベック®フラッシングシステムの場合)

デュポン™タイベック®フラッシングシート及びストレッチガード®を用いた施工詳細



両面防水テープの剥離紙を剥がしサッシ側部に
タイベック®を施工します。

サッシ上部へも タイベック®を施工し、しっかりと
圧着させて完了です。

重要ポイント③

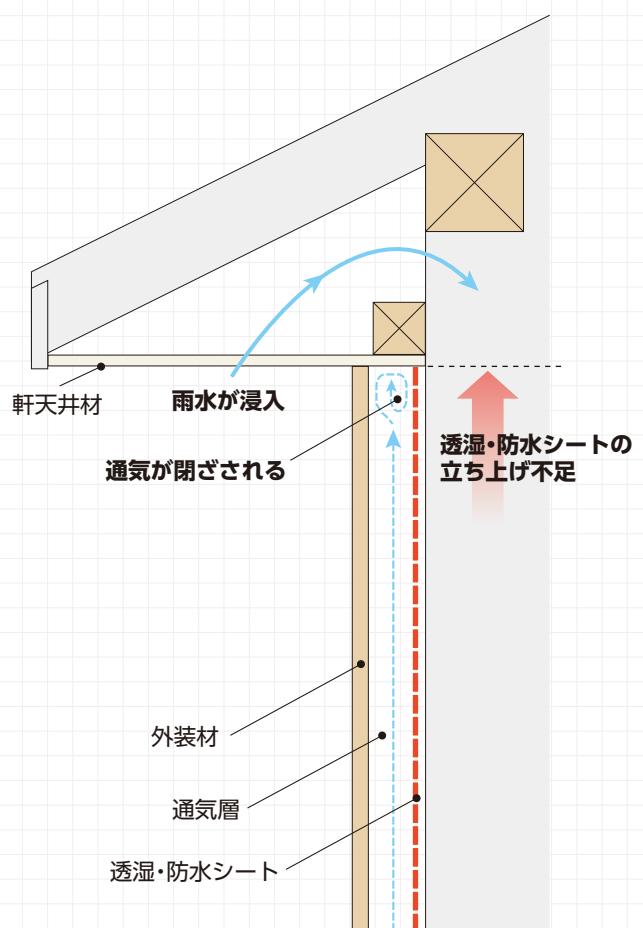
軒天部の防水、通気

軒天井と外壁との取り合い部は、風雨の吹き上げ等により雨水が浸入する弱点となることがある。そのため、透湿・防水シートを軒天井より上部へ張り伸ばし、雨水の浸入を防ぐなくてはならない。また、軒天下地となる野縁により通気が止まると、通気層構法の意味を果たさなくなるので注意が必要である。

軒天部の参考施工例

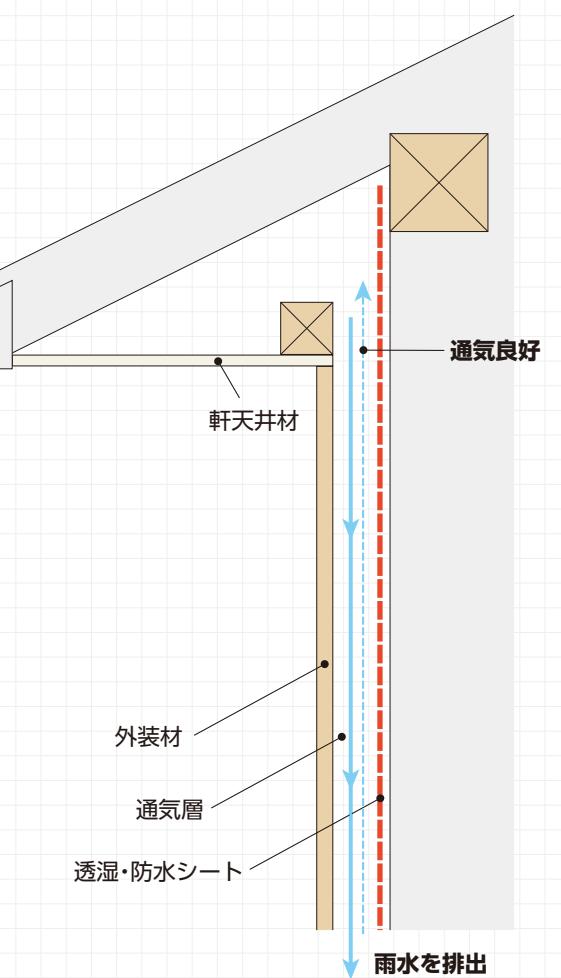
×悪い例

天井下地用野縁で通気が止まっている。



○良い例

透湿・防水シートを垂木下まで施工。



Point

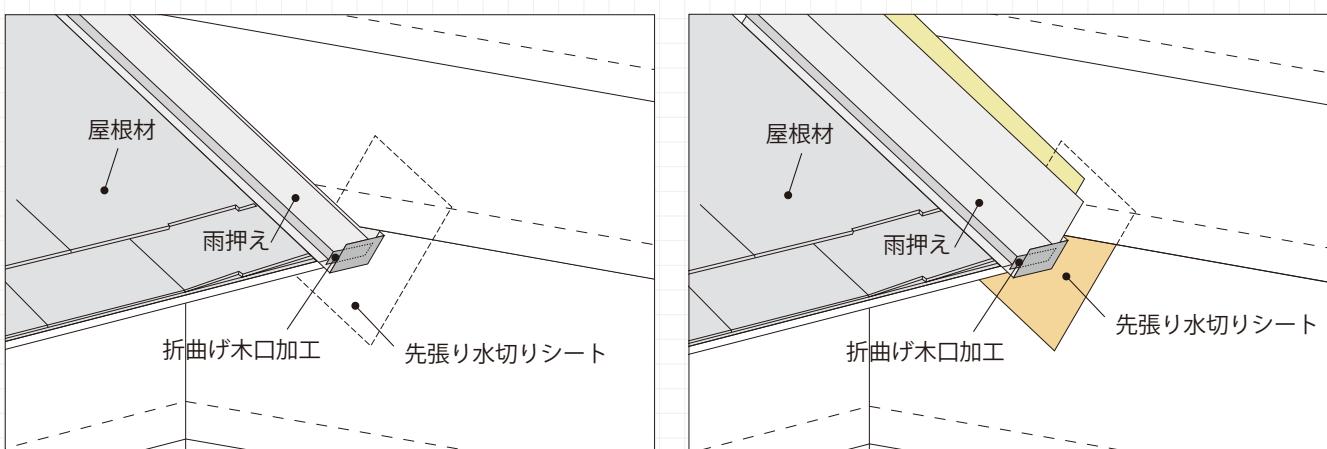
透湿・防水シートの立ち上がりを確保するためには、外装工事より先行して軒天周りへシートを施工する必要がある。
透湿・防水シートの代わりに、より防水性が高く、透湿性も有するタイベック®フラッシングシートを使用することも可能である。

重要ポイント④

屋根と外壁の取り合い

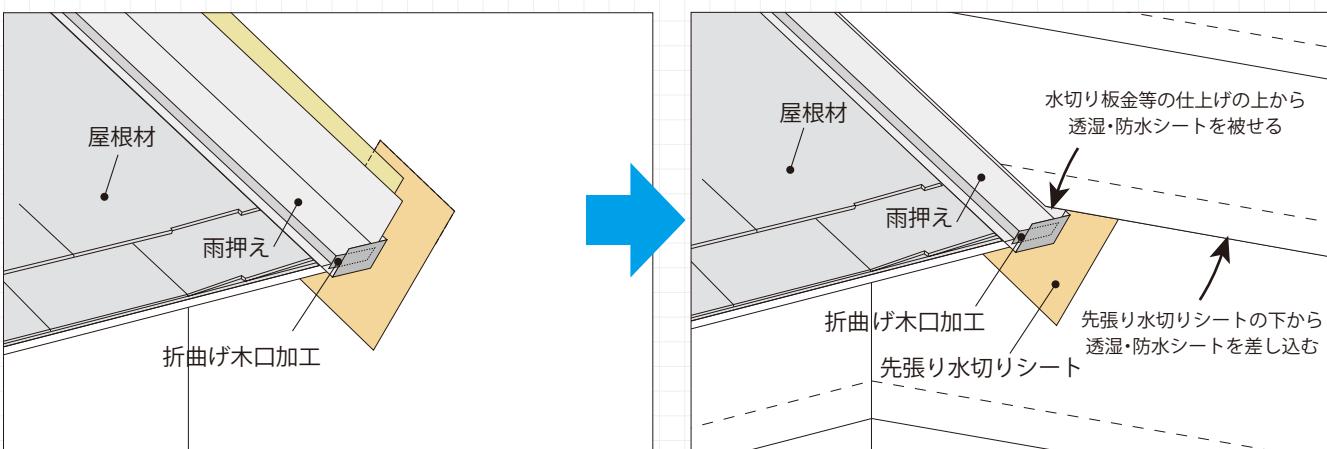
壁面と屋根の軒先との取り合い部分には、比較的大量の雨水（屋根に直接降りかかる雨水、外壁を伝わって流れ落ちる雨水、屋根面から跳ね返る雨水等）が回り込みやすい傾向があり、雨水が浸入しやすい弱点である。従って透湿・防水シートの施工にも十分な注意が必要である。

×悪い例



- × 先張り水切りシートの下端にて、透湿・防水シート上端が上から被さるように施工されている例
- × 先張り水切りシートと屋根下蓋材の間にに入るよう透湿・防水シートが施工されている例

○良い例



- 水切り板金等の仕上げの上に透湿・防水シートが被さるように施工されている。
- 先張り水切りシートの下から透湿・防水シートを差し込むように施工されている。

Point

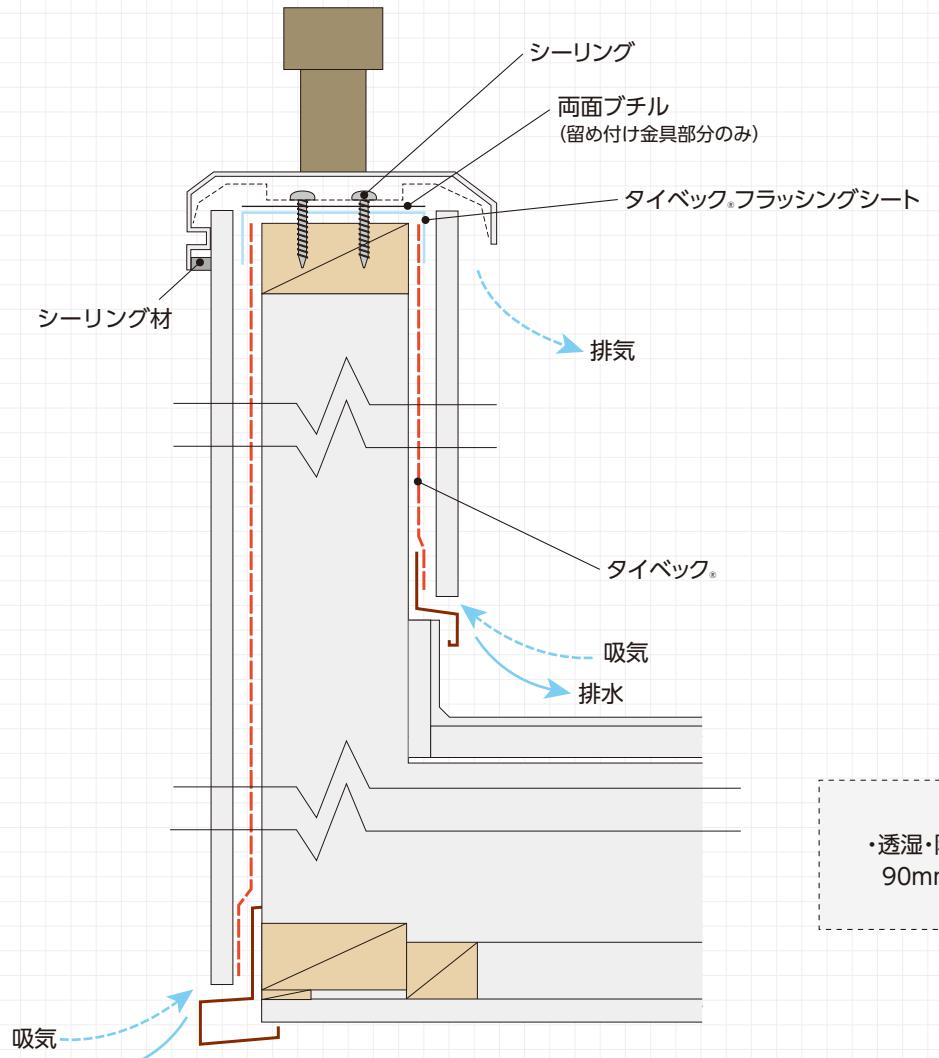
各部位において、雨水や結露水が透湿・防水シートの内側に流れ込まない施工となるよう注意する。
また、先張り水切りシートは、透湿性能のあるタイベック・フラッシングシートを推奨する。

重要ポイント⑤

バルコニーでの防水、通気

バルコニーやパラペットでの天端では、タッカーを打ち込むと雨水浸入のリスクが高まるため必ず側面で留めつける必要がある。また、笠木取り付け金具のビス穴からの雨水浸入を防ぐためには、シーリングに加えてブチルテープの捨て張りを行うことがもっとも有効な手段である。

タイベック・フラッシングシートを用いた施工方法



General

・透湿・防水シートの縦の接合部は、90mm以上は重ねる。

Point



タッカ穴の止水について

さまざまな水切りシートをパラペット模型に施工し、その天端にタッカを複数ヶ所打ち込み、散水試験を2時間実施した。水切りシートのみではタッカ穴からの雨水浸入が確認されたが、水切りシートにブチルテープを捨て張りすることにより、タッカ穴からの雨水浸入が無くなり、タッカーや釘穴に対して最も有効な止水処理であることが分かった。

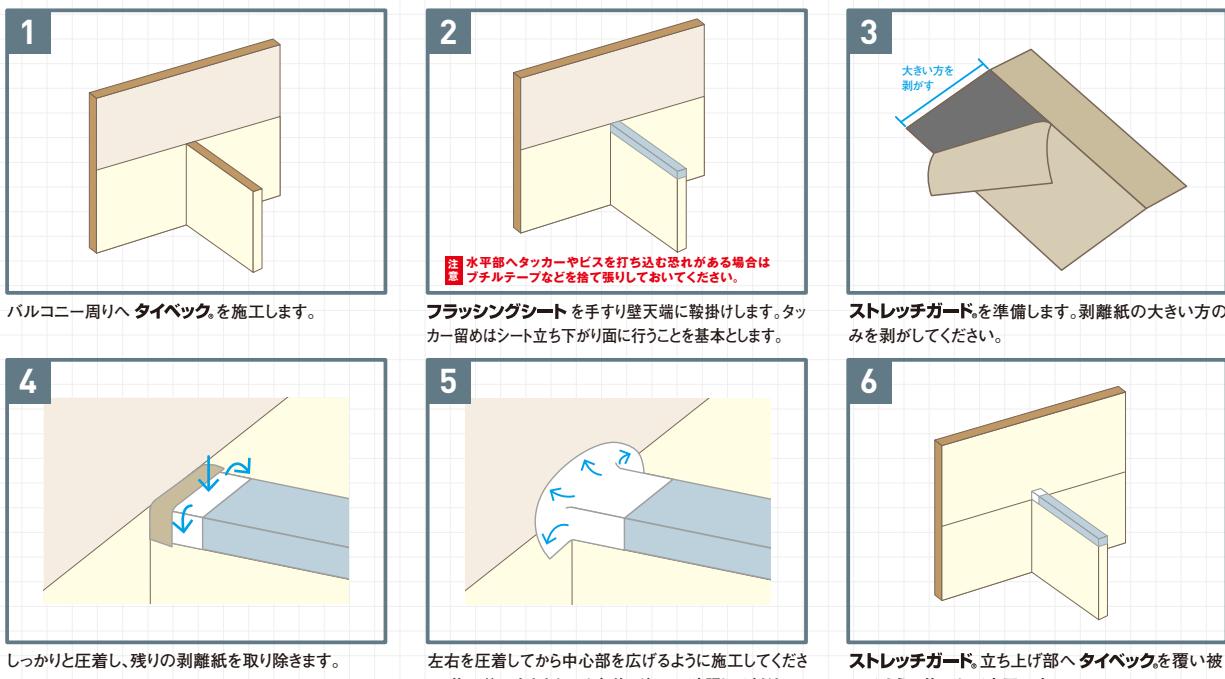
試験実施：デュポン株式会社 テクニカルサービスセンター

重要ポイント⑥

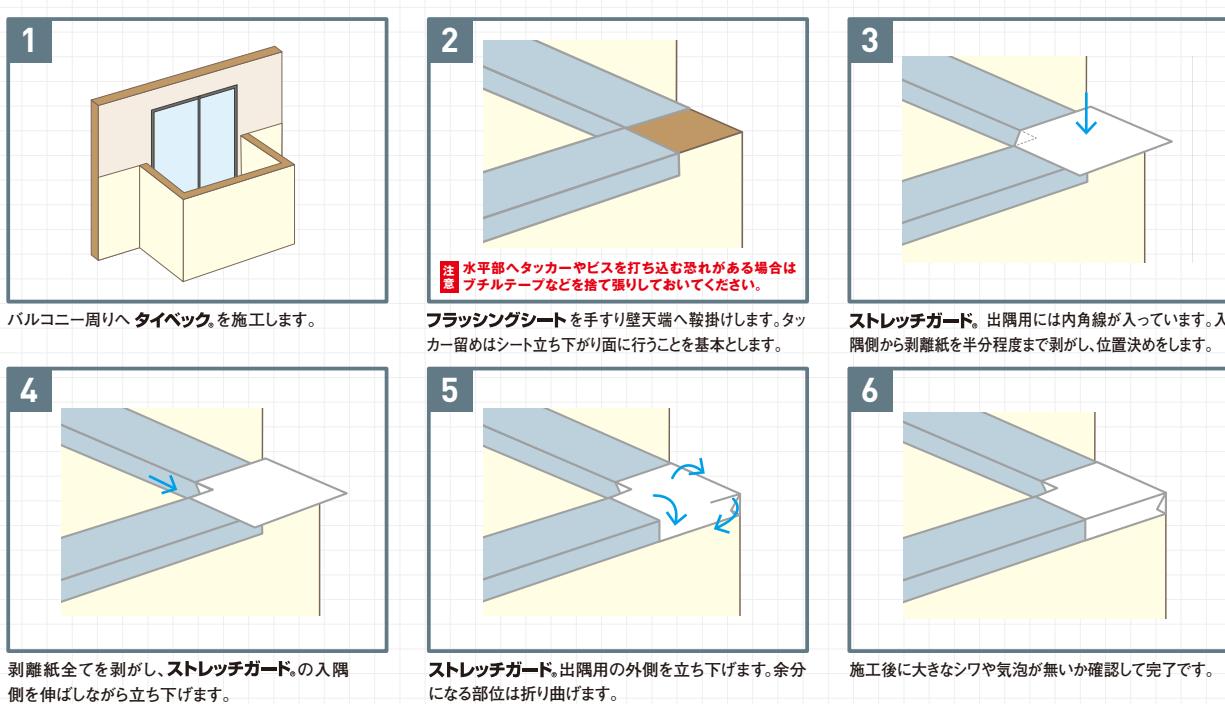
手摺り壁と外壁との取り合い 及びバルコニー出入り隅部

バルコニー周りでの取り合い部はピンホールが発生しやすく、
また浸水のリスクも高い部分であるため、入念な防水施工が必要である。

手摺り壁天端と外壁取り合い部施工詳細



バルコニー出入り隅部での施工詳細

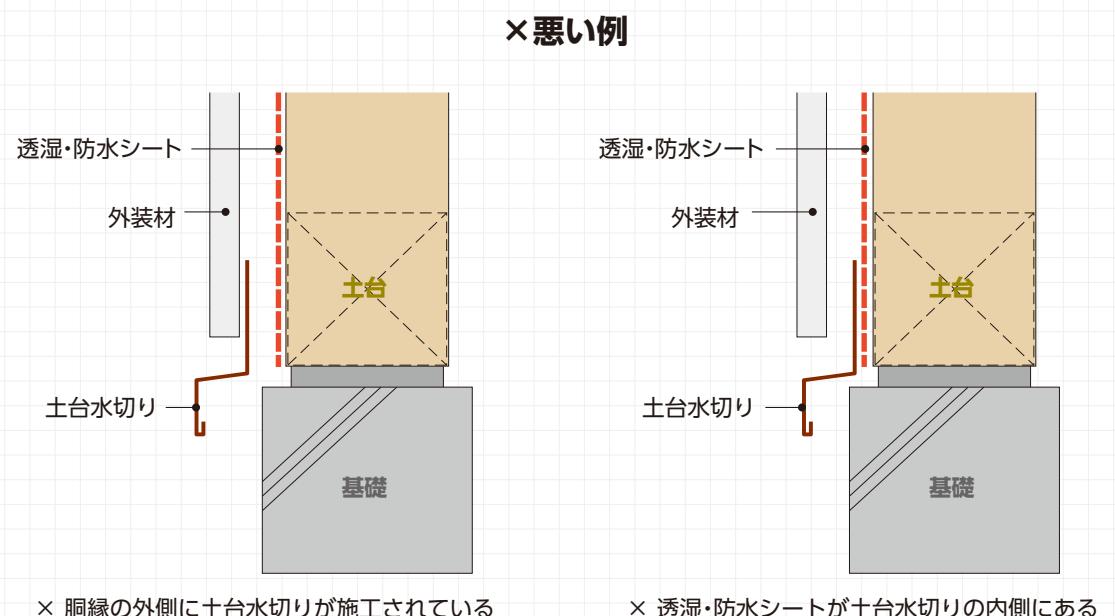


重要ポイント⑦

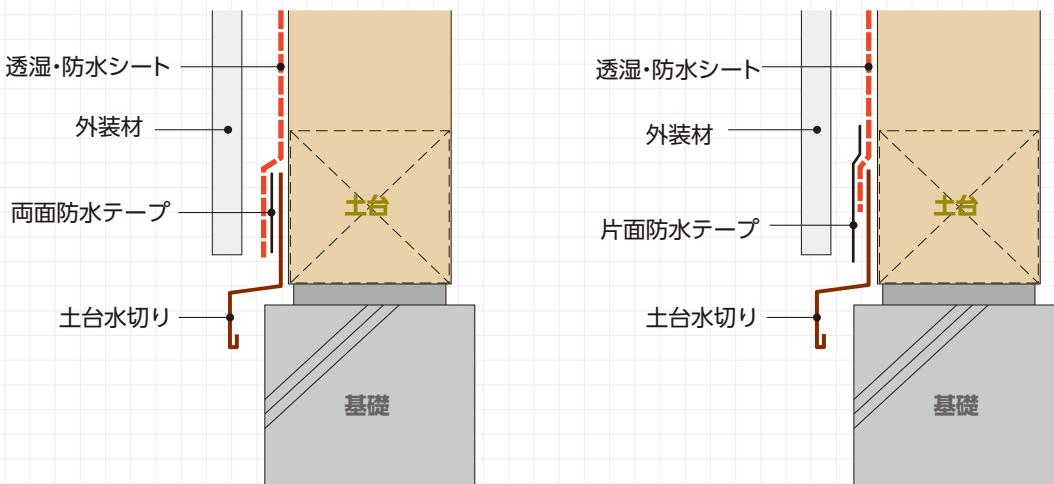
水切り部分での通気、排水

含水率が高まった土台は生物劣化被害(腐朽菌、白アリ等)が発生しやすく、住宅性能を大きく劣化させる。
土台水切り部分において、透湿・防水シートを正しく施工することが重要である。

土台水切り部参考施工例



○良い例



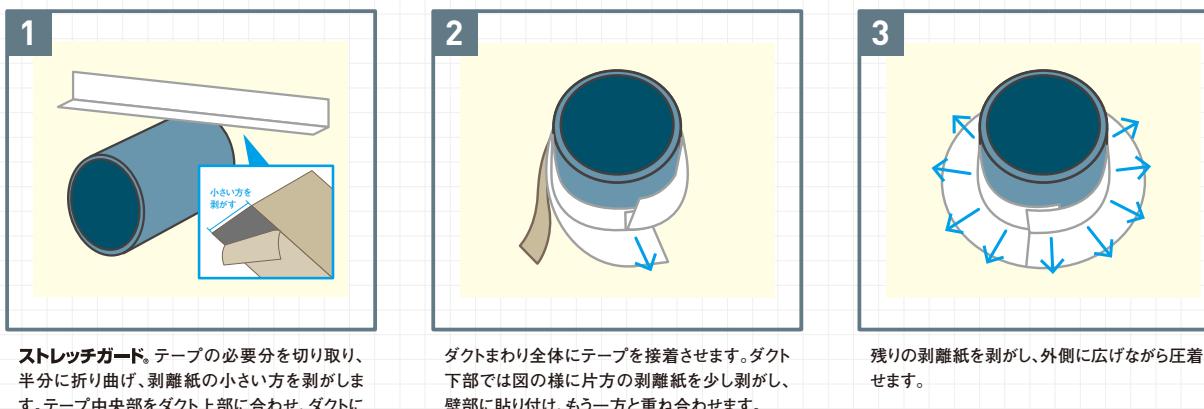
Point
透湿・防水シートと土台水切りは、防水テープを介して三位一体の止水面として施工する。
※オーバーハング部等の見切縁も同様の納まりとする。

重要ポイント⑧

ダクト貫通部

ダクトなどの貫通部で防水テープを張り重ねて施工することが難しく、また十分な接着ではない可能性があるため、注意が必要な箇所である。

ストレッチガード[®]テープを用いた施工詳細



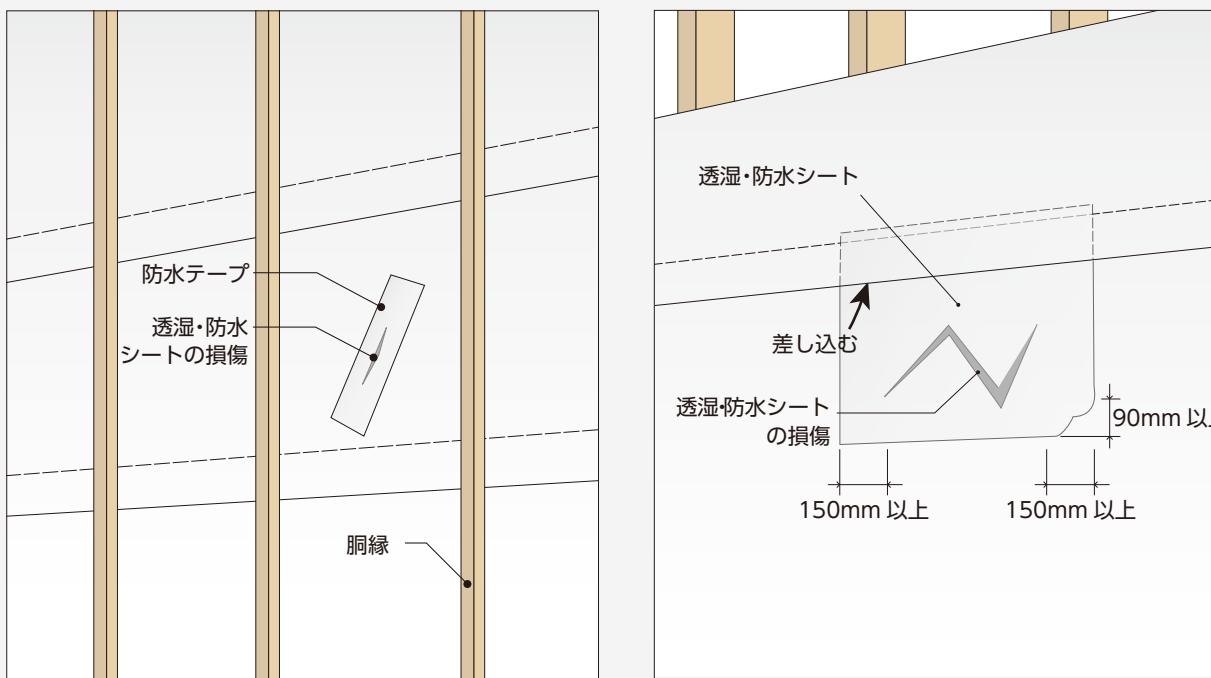
ストレッチガード。テープの必要分を切り取り、半分に折り曲げ、剥離紙の小さい方を剥がします。テープ中央部をダクト上部に合わせ、ダクトに沿って貼り付けます。

ダクトまわり全体にテープを接着させます。ダクト下部は図の様に片方の剥離紙を少し剥がし、壁部に貼り付け、もう一方と重ね合わせます。

残りの剥離紙を剥がし、外側に広げながら圧着せます。

破れた透湿・防水シートの補修

外装仕上げ材を施工する前に、透湿・防水シートに破れやキズがないか確認し、必要に応じて補修を行う。



ウォールフラッシングシステム 製品ラインナップ

デュポン™ タイベック[®] シルバー デュポン™ タイベック[®] ハウスラップ デュポン™ タイベック[®] フラッシングシート

⚠ 取扱い上の注意

- ①当商品を、直射日光にあたる場所に長期間放置しないでください。施工後は、60日以内にサイディング貼りを終了してください。
- ②当商品は、外壁下地としてのみ使用してください。タイベックシルバーについては小屋裏への施工も推奨しておりますが、屋根下葺き材にはなりません。
- ③当商品は、滑りやすいので、上に乗らないようにしてください。
- ④当商品は、火や高熱によって溶けたり燃えることがありますので、火や高熱物を近づけないでください。
- ⑤シートにキズ、破れ等がないか確認してください。
- ⑥当商品をカッターで留めつける際、シートを破らないようまっすぐに打ち込んでください。また、打ちつけ圧力が強すぎると破れる恐れがありますのでご注意ください。
- ⑦水平部でのタッカー、ビス留めは雨水浸入の可能性がありますので、垂直部で留めてください。
- ⑧当商品の施工にあたっては、当社が提供するデュポン™ タイベック[®] 標準施工要領に従い適切に施工してください。
- ⑨当商品を取り扱う際には、手を切らないようにご注意ください。
- ⑩当商品を使用して施工した場合でも、工法等により結露する場合があります。
- ⑪合成樹脂特有の臭いが生じることがございますので、通気の良いところで保管ください。
(シックハウス対策規制を受ける化学物質発散測定においては、フォスター基準を満たしております。尚、外壁下地としては、適用外の基準となります。)
- ⑫防蟻防腐剤がシートに影響を及ぼすことがあります。
木材に塗布する場合、溶剤が十分に揮発してからシートを塗工してください。
又、通気胴縁に関しては外装施工前に雨水などにさらされることにより、防蟻防腐剤が溶け出し、シートの防水性を低下させることがありますので十分にご注意ください。

⚠ 告警

- 滑落の危険性がありますので、屋根用には使用しないでください。

デュポン™ タイベック[®] ハウスラップテープ

(両面アクリル・片面アクリル・両面ブチル・シルバー)

ストレッチガード[®]

⚠ 取扱い上の注意

- ①火気、高温、直射日光、水を避け涼しい場所に保管してください。
(高温下での保管は、剥離紙が剥がれにくくなることがあります)
- ②ブチル系の粘着層の場合は、低温時(5°C以下)には粘着性能が低下することがあります。
- ③下地のすき間、段差部は修正してから施工してください。
- ④剥離紙は滑りやすいので注意してください。
- ⑤接着面の水分、油分、ゴミを除去してください。
- ⑥テープ施工後は、ローラーなどを用いて十分な圧着を行ってください。
- ⑦一度接着させたテープは、はがして再使用しないでください。
- ⑧養生用、電気絶縁用には使用しないでください。
- ⑨火気附近、高温になる場所(FFストーブの配管廻りなど)には使用できません。
- ⑩長期間にわたり、直射日光にさらされないよう、外装材等の施工は速やかに行ってください。

Youtubeにて、ストレッチガード[®]の施工動画を公開中!

タイベック[®]関連の動画をYoutubeにて公開しています。

今後も随时、動画をアップしていきます。ぜひチャンネル登録をお願いします。



Youtube ストレッチガード

検索

